【令和6年度全国学力・学習状況調査分析結果】

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立日吉台小学校

調査目的	◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習 状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

本校では、国語、算数ともに全国及び県の平均正答率を少し下回る結果となりました。

国語では、「書くこと」についての正答率が全国および県平均を上回り、強みとなっています。しかし、「話すこと・聞くこと」については正答率が全国及び県平均を下回る結果となりました。目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討して解答する問題で、複数の資料や文章から出題に必要な情報を読み取って答える必要があります。調査全体を見ると、「書くこと」について、目的や意図に応じて、集めた材料を分類・関係付けをし、伝えたいことを明確にして解答する問題の正答率が高いことから、「書くこと」に関する力は持っていると考えられ、複数の資料から読み取る力を伸ばす必要があると考えています。また、「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、漢字を文の中で正しく使うことができる力について、課題が見られました。

算数では、「図形」の領域についての正答率が全国平均を上回る結果となりました。また、「データの活用」において、必要なデータを取り出し、分類整理して解答する問題では、正答率は全国平均を大きく上回りました。しかし、「知識及び技能」に関しては、除数が1より小さい場合の小数の除法の計算に課題が見られました。

質問紙調査では、「国語の勉強は好き」と答えている児童が多く、国語への関心が県平均と比べると同様の結果が出ています。また、「自分と違う意見について考えるのは、楽しいと思いますか。」という質問では、肯定的な回答の割合が高くなっています。

「人が困っているときは、進んで助けますか。」という質問に対して肯定的な回答をする児童が多く、良い傾向が見られました。

「自分には、よいところがあると思いますか。」や「将来の夢や目標を持っていますか。」という質問に、ある・持っていると答えた児童は、全国平均より若干少ない結果となりました。

【指導の充実に向けて】

◇国語も算数も、1年生からの積み重ねが大事であると考えています。各学年で基礎・基本の定着に向けて、取組を続けていきます。授業や「ぴよしくんタイム」、家庭学習において、読み書き計算などの基礎学力の定着を図ります。

◇国語科を中心として、自分の考えをまとめ、文章で書くことの指導をしていきます。例えば、自分の意見を述べる・書き表す、学習の振り返りを書く活動を工夫する、複数の条件を満たして文章を書く、グラフや資料・絵・図などを読み取り自分の考えを文章化する活動に取り組んでいきます。

◇授業の中に「話し合う活動」を取り入れ、互いの思いや考えを聴き合う活動をしたり、効果的にICT機器を活用したりして、学びの質を深めていきます。

◇体験活動やたてわり活動を充実させ、一人ひとりが達成感や存在感を感じられる学校・学級づくりに努め、児童の自己肯定感を高めます。

◇「朝読書」の時間の内容を発展させて、読書に親しむ習慣を身につけさせるとともに読み解く力の育成に努めます。